

緊迫する 世界



★★★4

自衛隊に宇宙部隊創設

ロンドン警視庁は11日、保釈中に裁判所に出廷しなかった疑いなどで、機密情報リークの専門サイトであるウィキリークス創設者、ジュリアン・アサンジ容疑者(47)を逮捕した。

アサンジ容疑者は、米議会の議員や、ヒラリー・クリントン国務長官(当時)など、要人の通信記録や情報をネット上にリークした。2016年米大統領選でのドナルド・トランプ氏の勝利に寄与したといわれる。

トランプ大統領はせっかく「ロシアゲート」疑惑から解放されたのに、



逮捕されたアサンジ容疑者(円内)。防衛省は2022年度、自衛隊内に「宇宙部隊」を発足させる

かわかみ・たかし 1955年、熊本県生まれ。拓殖大学海外事情研究所所長。大阪大学博士(国際公共政策)。フレッチャースクール外交政策研究所研究員、世界平和研究所研究員、防衛庁防衛研究所主任研究員、北陸大学法学部教授などを経て現職。著書に「新しい戦争」とは何か(ミネルヴァ書房)、「トランプ後の世界秩序」(東洋経済新報社)など。

網「ファイブ・アイズ」だ。そのインテリジェンスは、自分たちの秩序を乱すアサンジ容疑者は放置できない存在だったの

「ファイブ・アイズ」にあって、アサンジ容疑者が逮捕

最高機密情報共有網「ファイブ・アイズ」 日本も参加するののか?



昨年12月に閣議決定された、新たな防衛力整備の指針「防衛計画の大綱(防衛大綱)」では、宇宙分野での能力強化を打ち出した。米空軍宇宙コマンドが主催した多国間机上演習「シユリーパーウォーゲーム」に昨年10月、日本も初めて参加

された同時期、自衛隊がファイブ・アイズと協力して、宇宙状況の監視網を築くという記事が流れた。無論、対象国は中国である。

中国は07年に衛星破壊実験を行い、近年も宇宙関連技術の開発を急速に進めている。1月には初めて月の裏側に無人探査機を着陸させた。これに

対し、米国は20年までに宇宙軍を創設する予定である。

米中の宇宙をめぐる覇権争いは激化すると考えられ、米国の同盟国である日本も22年度に自衛隊に100人規模の部隊を足す。山口県内に専用レーダーを配備し、収集した情報分析拠点を東京都内に置く。

が将来、宇宙分野だけではなく、その他の分野でもファイブ・アイズに協力することになるのだろうか。

情報の分野は、①イミント(偵察衛星や偵察機による写真偵察)②シギント(電波や電子信号傍受による情報収集)③ヒューミント(人間による情報収集)④カウンターインテリジェンス(防諜、外国の諜報活動への対抗策)などに分けられる。宇宙分野での情報活動は、主に①や②に当たるが、今後③や④にも活動協力領域が広がられる可能性もある。

そうなれば、日本の安全保障上、強力な体制が築かれることとなる。ただ、それ以前に、日本にもファイブ・アイズ諸国並みの「情報機関の創設」と、それに見合った整備が必要となる。